

# 営農情報第5号

平成28年7月  
富山市農業協同組合  
富山農林振興センター

コシヒカリの生育は、今年も高温等の影響により平年に比べやや早まわっています。

今後も高温傾向が予想されるため、水管理等により稲体の活力維持を図るとともに、刈取時期を的確に見極め、白未熟粒や胴割粒の発生を抑える必要があります。

生育ステージにあわせた**水管理**や病虫害防除の徹底と、**適期刈取**と**適正な乾燥調製**で、高品質米に仕上げましょう。

## コシヒカリの幼穂形成期と出穂期

| 年度             | 田植時期  | 幼穂形成期 | 出穂期     |
|----------------|-------|-------|---------|
| 28年            | 5月12日 | 7月9日  | (7月31日) |
| 27年            | 5月12日 | 7月10日 | 8月1日    |
| 平年<br>(H18~27) | 5月11日 | 7月11日 | 8月3日    |

富山市農協管内コシヒカリ生育基礎ほ(7カ所)の平均値

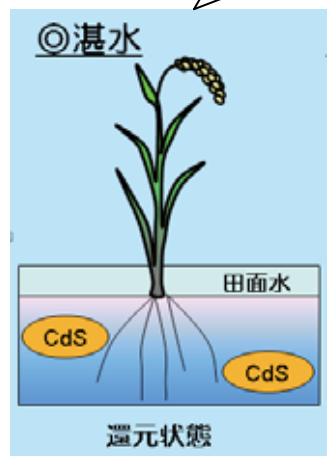
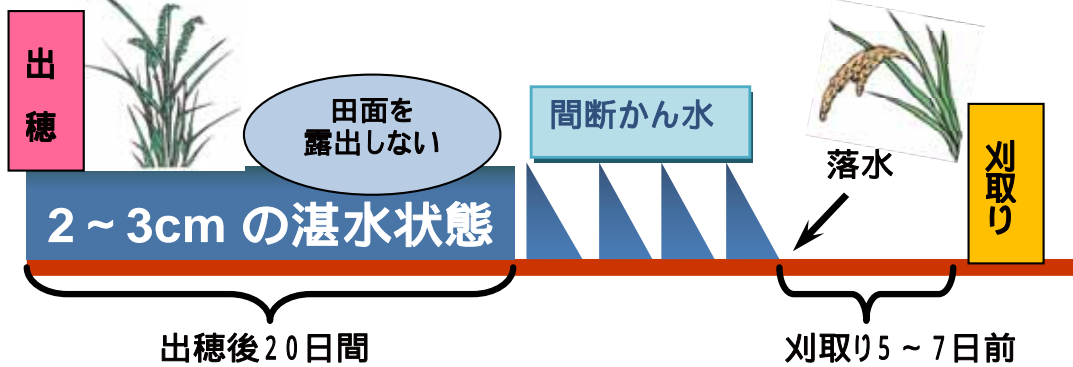
## 1 出穂以降の水管理徹底で、稲体活力維持！

- (1) 出穂後20日間は田面が露出しない程度の湛水状態を保ちましょう。
- (2) 出穂20日後から刈取りの5~7日前までは「**間断かん水**」に切り替えてください。
- (3) フェーン現象が予想される場合は、事前に「**入水**」しましょう。

「フェーン現象予測」は、NOSAI 富山のホームページに掲載されています。  
(<http://micos-sa.jwa.or.jp/hokuriku/nosai-t/index.htm>)

湛水管理で、カドミウムの吸収抑制も図ります！

### <水管理イメージ図>



## 2 基本防除を徹底し、病虫害による収量・品質低下を防止する

本年もカメムシ類多発注意報が発令(6月21日付)されています。  
また、今年にはほ場毎に生育ステージのバラつきが大きいことから、ほ場毎に生育を確認し、適期を逃さず防除を行いましょう。

斑点米カメムシ発生状況調査(H28.7.19 富山市農協管内の早生ほ場 12カ所)

|     | 発生頭数(頭/20回振) |      |      | 発生地点率 (%) |
|-----|--------------|------|------|-----------|
|     | アカヒゲ         | アカスジ | トゲシラ |           |
| H28 | 1.6          | 0.4  | 0.0  | 83.3      |
| 平年  | 1.9          | 1.1  | 0.3  | 74.1      |

平年はH18~27の平均値

### 粉剤防除体系の場合

| 防除時期の目安 | 中生(コシカ)  | 晩生(てんこもり) | 使用薬剤名及び散布量                    | 対象病虫害             |
|---------|----------|-----------|-------------------------------|-------------------|
| 穂揃期     | 8/3~5頃   | 8/7~9頃    | ラブサイドキラップ粉剤DL<br>4kg/10a      | いもち病<br>ウンカ・カメムシ類 |
| 傾穂期     | 8/10~12頃 | 8/14~16頃  | スタークル粉剤DL<br>3kg/10a(収穫7日前まで) | カメムシ類             |

穂揃期と傾穂期の防除間隔の目安は7日間です。

間隔が10日以上になると防除効果が劣るので注意しましょう。

本田内のノビエやホタルイは、カメムシ類の侵入や斑点米の被害を助長するので、除草を徹底してください。  
薬剤は、使用基準等を厳守し、周辺の作物に飛散しないよう十分注意して防除してください。



アカヒゲ  
体長 5~6 mm  
寄主植物  
イネ科植物  
(メヒシバ、ノビエなど)



カシ  
体長 5~6 mm  
寄主植物  
イネ科植物  
カヤツリグサ科植物  
(ホタルイなど)

## 安全は知識と意識と心がけ

農作業中の熱中症に注意しましょう！

